

Race Report

2017 AUTOBACS SUPER GT

Round-2 / FUJI GT500KM RACE

Hitotsuyama Audi R8 LMSが14位完走。 ポイント逃すも、次戦に向けて確かな手応え。

Audi Team Hitotsuyamaは、2017年5月3日、4日、静岡県富士スピードウェイで開催されたSUPER GT第2戦「FUJI GT 500KM RACE」を14位で完走。ポイントは逃したものの、次戦に向けて確かな手応えを得ることができました。

テクニカルコースを得意とするAudi R8 LMSにとって、富士スピードウェイはどちらかといえば不得手なサーキットですが、現行型Audi R8 LMSを投入した2016年には7位、そして2位の成績を残しており、今季初ポイントの獲得を目指して、リチャード・ライアンと柳田真孝が110周、500kmの長丁場に挑みました。



予選

5月3日、富士スピードウェイは朝から好天に恵まれ、雄大な富士山を臨みながら予選を迎えることになりました。予選が始まる14時40分には空に雲が広がり、気温18℃、路面温度は30℃という状況に対して、「予選のタイヤを硬めでいくか、それとも柔らかめでいくか、悩みに悩んだ末、決勝を考えて硬めを選びました」とはチーム代表の一ツ山亮次。

Q1、Q2の2段階で行われるノックアウト方式の予選は、ライアンがQ1を担当。この状況では不利なはずの硬めのタイヤを履くにもかかわらず、6周目にマークした1分36秒870が14番手となり、上位14台で行われるQ2へ進出する権利を手に入れました。

30分のインターバルのあと行われたQ2では、柳田が6周目に1分37秒837をマークしますが、ポジションアップを図るには至りませんでした。しかし、予選終了後に上位チームの走行に違反が見つかり、ラップタイムが削除されたことから、決勝は1つ繰り上がって13番グリッドからのスタートになりました。

予選結果

P1 #4 グッドスマイル 初音ミク AMG 谷口信輝／片岡龍也

P2 #9 GULF NAC PRSCHE 911 ジョノ・レスター／峰尾恭輔

P3 GAINER TANAX AMG GT3 平中克幸／ビヨン・ビルドハイム

P13 #21 Hitotsuyama Audi R8 LMS リチャード・ライアン／柳田真孝

決勝

5月4日、雲はあるものの引き続き好天に恵まれた富士スピードウェイ。午後になっても雲が日差しを遮ることはなく、レース開始直前の14時の気温は23℃、路面温度は35℃と、前日より暖かい状況で決勝を迎えることになりました。

今回の500kmレースを2回のピットストップで戦うAudi Team Hitotsuyamaは、前日の予選で使った硬めのタイヤで走る第1スティントをライアンが担当。1回目のピットストップで柳田に交替する際には硬めの新品タイヤに交換する一方、2回目のピットストップではタイヤ交換を行わないことで作業時間を短縮する作戦を考えていました。

ローリング方式でスタートした決勝は、ライアンが順位を守ったまま1コーナーに進入。以後、スタートから15周くらいから20周くらいはタイヤを温存しながら様子を見て、調子が良ければそこから攻めに転じる考えでした。ところが、タイヤのミスマッチにより思うようにラップタイムは上がりません。

37周を終えたところで柳田にドライバー交替。硬めのタイヤを履かせてコースに送り出しますが、想像以上に温まらないタイヤに手こずり、ラップタイムは低迷。第2スティントの最終ラップでベストラップを叩き出しましたが、トップとの差は大きく開いてしまいました。

そこで、2回目のピットストップは予定を変更してタイヤ交換を敢行。柔らかめのタイヤを履いたライアンはペースを上げ、終盤にはベストラップをマークするなどして順調に周回を重ねた結果、14位でチェッカードフラッグを受けました。

次戦は2017年5月20日～21日、大分県のオートポリスにて開催されます。Audi R8 LMSが得意とするコースだけに、次戦こそポイント獲得、そして、表彰台を目指してレースに臨みますので、皆様のご支援、ご声援をお願いいたします。

決勝結果

P1 #51 JMS P.MU LMcorsa RC F GT3 中山雄一／坪井 翔

P2 GAINER TANAX AMG GT3 平中克幸／ビヨン・ビルドハイム

P3 #33 D'station Porshce 藤井誠暢／スヴェン・ミュラー

P14 #21 Hitotsuyama Audi R8 LMS リチャード・ライアン／柳田真孝



チーム代表 一ツ山亮次のコメント

今回の富士はタイヤの選択をハズしてしまいました。第2スティントの柳田にはソフトタイヤを履かせるべきでした。柳田もソフトタイヤならば上位と変わらないペースで走行できたはずとコメントしていますから、とても申し訳ない気持ちです。そんな状況でもスティントの終盤にはまわりと同じようなペースで走ることができていましたし、第3スティントのリチャードはソフトタイヤでトップ勢と遜色ないペースで走っていました。今回タイヤの特性についても色々と分かってきた部分がありますので、次戦に向けての明るい材料にできそうです。

残念ながら開幕戦、第2戦とポイント圏外で終わり、なんとかしなければいけないという苦しい気持ちでいっぱいですし、ストレスも溜まっています。しかし、2週間後にはオートポリスがありますので、落ち込んでいる暇はありません。さいわいオートポリスはAudi R8 LMSとは相性の良いコースですので、タイヤ選択でミスをせず、良いパッケージができれば、必ず上位は獲得できると思います。ダンロップとともに、短期間でチームとしてできることを考え、必ずポイント圏内でフィニッシュできるよう頑張りますので、応援よろしく願いします。



Official Facebook page of Audi Team Hitotsuyama.

<https://www.facebook.com/hitotsuyamaracing>